

小学6年～高校1年相当の女性は無料!

Q. ワクチンはどこで受けられるの?

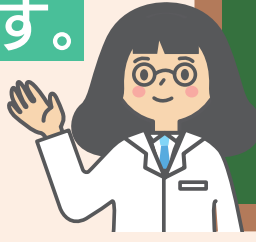
A. 本市の200以上の医療機関で受けられます。

内科や小児科、産婦人科などで受けられます
 接種できる医療機関はこちら

たくさんの医療機関で受けられるんだね
 小児科でも受けられるんだって

Q. 副反応が心配なのですが。

A. ワクチンの安全性は確認されています。



「接種後にさまざまな症状が出た」という報道がありましたが、その後の検証でワクチンとの因果関係は立証されていません
 接種による有効性が副反応のリスクを上回ることから、厚生労働省は令和4年4月に積極的勧奨を再開

副反応として報告された数*	そのうち重い症状として報告された数
10,000人あたり 約4人	10,000人あたり 約2人

※副反応としての報告は接種部位の痛み、頭痛、発熱など一時的な症状がほとんどです。
 出典：厚生労働省リーフレット（詳細版）

専門家(医師)からのメッセージ

未来を守るため、接種をお勧めします

これまでの研究や調査などから、接種率が80～90%となった諸外国では、子宮頸がんの発生が大きく減少しています。しかし日本では年間約1万人が子宮頸がんにかかっています。

子宮頸がんは予防できるがんです。ワクチン接種は、自分自身を守るだけ

なく、周囲の人を守ることもつながります。がんにかかると、治療や生活、将来の妊娠・出産に影響する可能性があります。取り返しがつかなくなる前に、自分の未来を守るため、ぜひワクチン接種を検討してください。



熊本市医師会予防接種委員会担当理事 池上 あずさ 医師（くわみず病院病院長）

接種後に気になる症状が出たら…相談窓口があります

詳しくはこちら



※HPVワクチンの接種後に生じた症状について、各都道府県に協力医療機関が選定されています。熊本県内の協力医療機関は熊本大学医学部附属病院(婦人科)です。

ワクチンの接種は強制ではありません。接種を希望される場合は、医療機関にご相談ください。

(感染症予防課 ☎096-364-3189)

20歳になったら 2年に1回の検診で がんを防ごう

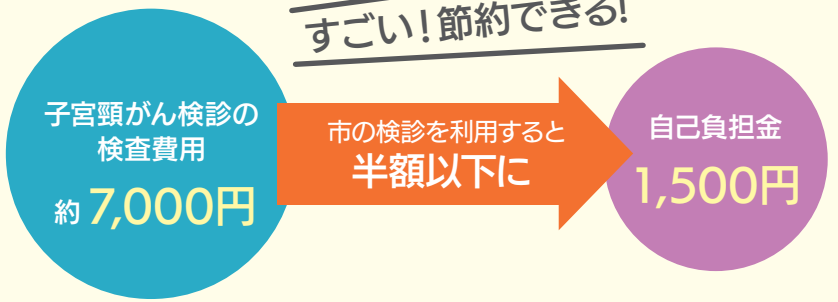
詳しくはこちら



子宮頸がんは早期のうちほとんど自覚症状がありません。異常を感じたときは、手遅れになる可能性があります。早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します(※)。本市では、偶数年齢の女性を対象に、検診費用の一部を市が負担しています。検診費用は約7,000円ですが、自己負担は1,500円で受診できます。検診では、医師による診察(内診を含む)と、細胞診でがんになりそうな細胞を調べます。

市のがん検診はこんなにお得!!

すごい!節約できる!



生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は、一定の証明書の提示で自己負担金が無料になります。詳しくは市ホームページをご確認ください。